

涼しい風が吹く日が増え、秋を感じる事が多くなってきましたね。中間考査が終わり、一息つける時間も増えたのではないのでしょうか。図書室でお気に入りの本を探して、ゆったりとした「読書の秋」を過ごしませんか。皆様のご来館をお待ちしております。



図書委員のオススメの本紹介



八咫鳥シリーズ 烏に単は似合わない 著者:阿部智里 出版社:文藝春秋

2024年4月から放送が開始されたアニメ「烏は主を選ばない」をご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私が紹介するのは同シリーズの一卷目にあたる作品「烏に単は似合わない」です。八咫鳥と呼ばれる者が統治する少し変わった異世界で始まったのは、次世代の長である若宮の婚約者選び。しかし各々の家名を背負い登殿(后候補として宮殿に移転すること)をした4人の姫に襲い掛かるのは幾多の策略でした。

この物語は途中まで読み進めていくと幻想的な恋愛小説のように思い込んでしまう節があります。無垢で可憐な少女の恋を応援したくなるのは私だけではないはずです。もし皆さんがこの本を読む機会がありましたら、是非前知識を持たずにお読みください。そうすることで一種の驚きと共に恐怖を味わうことができると思います。

(担当:諸江)



あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。 著者:汐見夏衛 出版社:スターツ出版



私が紹介する本は、「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。」という、宮原涼と加納百合という2人の物語です。中学2年生の男子宮原涼には物心ついた頃から何度も見る夢がありました。空を飛んでいる夢、飛行機を操縦している夢、それに百合の花に囲まれて空を見上げる長い黒髪の女の子の後ろ姿の夢。そんなある日、三原涼は、転校先の学校で不思議な女の子、加納百合と出会います。初めて会ったはずなのに、なぜか懐かしく、また親しくなっていくにつれ、優しくまっすぐで純粋な彼女にどんどん惹かれていきました。勇気を出して告白しようとしたとき、百合が驚くべき過去を打ち明けます。この百合の過去を打ち明ける場面が面白いので、ぜひ読んでみてください。

(担当:平井)

文化祭で行う古本市について、お知らせがあります！裏面もチェック！





古本市のお知らせ



図書委員会では、文化祭で古本市を企画しています。

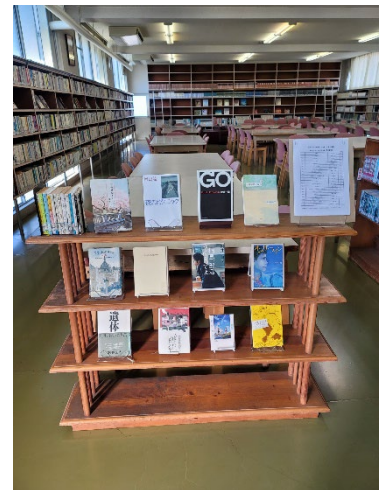
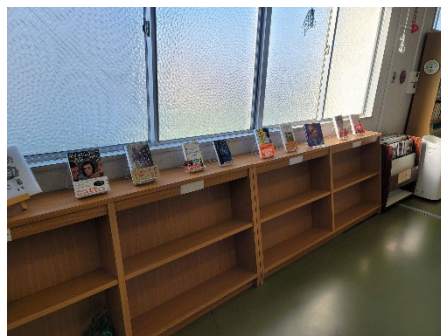
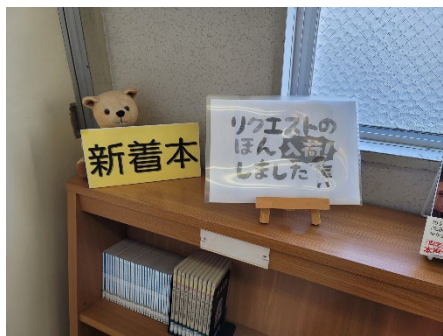
今は読まなくなった本がお家に眠っている方、古本市に寄贈して、新しく読んでくれる人の元へ本を届けませんか。寄贈して下さった方には、文化祭当日に使える無料券を5冊につき1枚プレゼントします！古本の寄贈は11月1日まで受け付けています。図書室まで届けてもらうか、クラスの図書委員に預けていただいても構いません。ご協力をお願いします！

古本市では、1冊100円で販売予定です。売り上げは、図書室の蔵書の購入に使わせていただきます。小説、漫画、実用書など様々な本を寄贈していただいているので、ぜひ掘り出し物を探しに来てください！



新着図書紹介

本の名前	著者名	本の名前	著者名
歌われなかった海賊へ	逢坂 冬馬	今日、僕らの命が終わるまで	アダム・シルヴェラ
アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス	15歳のテロリスト	松村 涼哉
低気圧がしんどい人の天気になげないカラダ	小林 弘幸 小越 久美	夜と霧 新版	ヴィクトール・E・フランクル
高瀬舟	森 鷗外	アーモンド	ソン・ウォンピョン
変な家	雨穴	成瀬は天下を取りに行く	宮島 未奈
シャーロック・ホームズ全集 1～9	アーサー・コナン・ドイル他		



☆図書館で購入のリクエストがあった本も、新しく購入しました。気になる本がある人は、ぜひ読んでみてください！

